

FinePlay!!

～ 互いに助け合う集団に～



豊中市立第五中学校
第1学年 65期 No.12
2016年6月22日(水)

～春の校外学習～

先日17日(金)に、春の校外学習が実施されました。雨や轟木公園のグラウンド

の状態が少し心配でしたが、何とか無事に実施することができました。中学校生活初めての校外学習は、校区ミニフィールドワーク・学年レクリエーションでした。「仲間とともに、地域で学ぼう・地域で遊ぼう!」というテーマで、日頃過ごしている地域のことを知り、学び、そして65期生の仲間と集団作りの第一歩へ、という目的で実施されました。半日ではありましたが、楽しく、そして学ぶことができたでしょうか。

ミニフィールドワークでは、9つの班に分かれて地域の歴史を学びながら、最終の轟木公園を目指してみんなで歩いていきました。豊中人権まちづくりセンターやとよなか人権文化まちづくり協会などでは、現地の方にお話をいただきました。他には信行寺、食肉センター跡地など、全ての場所を全員が回ることはできませんでしたが、各班しっかりと学習できたのではないのでしょうか。また、小学校の時に学んだ人もいましたが、違うメンバーと行き、新たな気持ちで話を聞くことができたと思います。みんないつもと違った顔つきで話を聞いていました。また、歩いている途中での声かけもしっかりできていました。「車がきているよ。」「自転車きたよ。」などさまざまな良い声が飛び交い、協力しながら歩いていたように思います。さまざまな思いが込められた五中地域で、心地よく過ごせていることへの「感謝」の気持ちをいつまでも持ち続けてほしいですね。

レクリエーションでは、みんなの気持ちをつなぐプログラムが用意されました。また、議員さんからは「ジェスチャーゲーム」と「バナナ鬼」を企画し、何度も話し合いを重ね、みんなが楽しめるようにということでこの2つに決まりました。集合や並び方、説明など全て議員さんが指揮を取り、みんなの先頭に立ちました。議員さん以外のメンバーもしっかりと話を聞いていましたね。「みんなで楽しむ」「ルールを守る」「相手を不快にさせない」この3つを決めてスタートしたレクリエーションは、すごく楽しんでいたように思います。お互いがルールを守り、気持ちよくゲームができる、こんな素晴らしいことはありません。また、話したことのない友達とも何かしらの形で接することができたのではないのでしょうか。「114人がなじみの公園で遊ぶ」というめったにない経験を、65期の絆を深めるためにも大事に育ててほしいと思います。

最後に、ただ単に「学校外に行く」「遊ぶ」ではなく、「学習する」という目的を持って行くということを忘れてはなりません。この目的を一人ひとりが意識し、行動することが

成功に繋がるのです。また、「集合」や「話の聞く姿勢」「相手を不快にさせない」など当たり前前ことをきっちりする。これができる集団にしていきたいと思います。



☆ミニフィールドワーク☆



***みんな真剣に話を聞いていました。**

☆お昼ごはん☆

***みんなで外で食べるお弁当はいつも以上においしかったね。**



☆レクリエーション☆



***たくさんの笑顔が見れました! 思いっきり楽しみました!**